

リレーインタビュー

大口町で活躍する社長さんをリレー形式でご紹介いただき、住民有志のおおぐち宣伝部が、大口町にある企業の素晴らしさと、社長さんの人柄をご紹介します企画です。



現場・伝統・素材に対して真摯に向き合えば、安全・品質・感性は高まる

株式会社 三五郎園

代表取締役 佐竹康太郎さん
文化財庭園保存技術者協議会副代表

Profile

昭和 40 年生まれ

趣味 エギング

江戸時代から伝わる疑似餌で、アオリイカを釣る伝統漁法。福井県敦賀まで出かけます。大きいもので2kg、胴だけで40cm、全長80cmのイカを釣ったことがあります。

設立 昭和 49 年 創業 64 年目

従業員数 16 名 大口町秋田三丁目 180 番地

どんな仕事をしている会社ですか？

主に、国宝、重要文化財、名勝、もしくは名勝になりうる庭や公園の修復や手入れをおこなっています。

代表的なものでは、名勝名古屋城二之丸庭園、八勝館、犬山の有楽苑、鶴舞公園日本庭園などを手がけています。また、新しい庭園造りもおこないます。

社長さんヒストリー

三五郎の屋号は4代目、造園業としては2代目です。以前は一般的な造園業で、公共工事などをおこなっていましたが、リーマンショックを境に取引先が倒産し、仕事が激減してしまいました。そこで考えた末、営業形態を変えて、文化財に特化することに決めました。そのために、48歳で京都造形芸術大学大学院へ入学し、日本庭園分野を修了。文化財庭園保存技術の習得をおこないました。修了後「エクシブ鳥羽別邸」を手がけさせてもらったこともあり、ちょうど名古屋市日本庭園が指定管理制度になったタイミングで、徳川園や、白鳥庭園などの手入れを任されることになり、文化財庭園の仕事をいただくようになりました。



▲鳥羽別邸玄関

大切にしていること

ひとつの小石も、庭園のための大切な要素であることを忘れないこと。

先人たちから受け継いだ技術に今の時代性を加え、新たな「伝統」を創りあげていくこと。従業員は代わっていても技術を維持し、より高い品質を求めていくことが大切です。

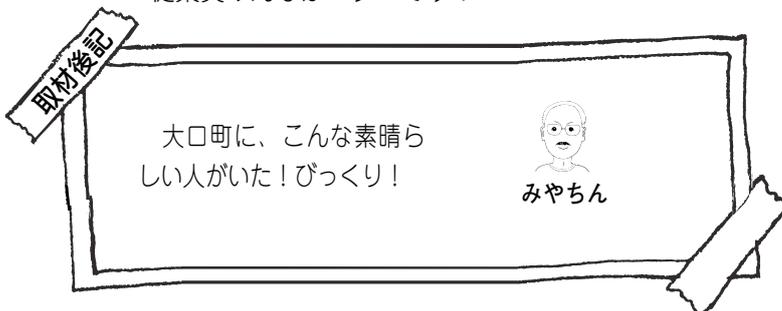
会社の自慢話

木曽川の名勝地として指定された、犬山「有楽苑」の改修を任されたこと。2年間にわたって修復作業をおこないました。日本の重要な文化財や名勝を手がけることができることが自慢です。



会社のスター

従業員みんながスターです！



取材後記

大口町に、こんな素晴らしい人がいた！びっくり！



みやちゃん